

□ 書 評

吉利 和編, 梅田典嗣ほか著

Diagnosis by Gastrophotography

国立がんセンター内科

崎 田 隆 夫

本書は長年にわたり米国フィラデルフィアのプレスビテリアン大学の Roth 教授の許に留学していた梅田博士がその間、同氏の所属する東大第一内科の論文を、立派な英語に翻訳されたものである。

本書はいわば胃カメラによる胃疾患診断学の英文 No. 1 とも称せられるもので、さきに筆者らの病院より出された早期胃癌アトラスの英文版に早期胃癌の胃カメラ診断の項があるが、胃疾患全般にわたり、45枚の胃カメラのカラーズライドを使って、英語で書かれたものとしては、世界最初のものといってよからう。

衆知のごとく、本邦には胃内視鏡の勉強に訪れる外国の諸学者がひきもきらず、英文の参考書が強く要望されて久しかった。本書は、Roth 教授ほか米国のその道の学者の協力も加わり、英語も完ぺきなものとなって、この意味では長年の要望に答える理想的な参考書ということができよう。内容も勿論すぐれており、本邦のこの道

の方々にもおすすめることはいうまでもない。特に最近では、抄録や、図表の説明に英文を要求されることが多くなったことから、本書はその意味で座右の書として役立つであろう。それはそれとして、本書は、従来適当な英文書を求めていた多くの世界の学者の希望をみたすことであろう。その点喜びにたえないところである。

内容は、歴史に始まり、正常胃（胃カメラスライド5枚11こまを含む）、胃炎（同7枚8こま）、胃潰瘍（同10枚10こま）、良性腫瘍（同4枚6こま）、胃癌（同5枚5こま）、早期胃癌（同6枚7こま）、胃癌の発育（同4枚7こま）、胃肉腫（同1枚2こま）、術後胃（同4枚7こま）、胃静脈瘤（同1枚1こま）、その他（同1枚4こま）より成っており、各胃カメラ像には全部シェーマと説明がついている。

従来この種の本が出にくかったのは専ら、胃カメラのカラープリントが高価につくためであったようである。本書はカラープリントより高価につくカラーズライドをそのままおりこんであり、米国では講義用にも活用されているそうであるが、価格は60ドルと少しく高価なのも致しかたあるまい。広く国の内外におすすめしたい好書である。

（なお本書は本邦のどこの書店でも注文できることを附記する）

B5・頁 88・カラーズライド 45枚
W. B. Saunders Company 1971